



労働力確保支援 センターだより

第28号

発行：公益社団法人
福島県森林・林業・緑化協会
〒960-8043
福島市中町5番18号
(福島県林業会館内)
TEL 024-521-3270
FAX 024-521-3246
平成28年12月発行



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

写真説明：高性能林業機械実践研修会（いわき市遠野町）

目次

高性能林業機械を取り巻く情勢について……	2
プロセッサのメンテナンス研修会を開催……	3
高性能林業機械実践研修会を開催……	4
就労者のキャリア形成に向けての取り組み…	6
森林作業道作設研修を開催……	7
林業就業支援講習（4日間）を開催……	8

森林・林業担い手育成事業の実施……	10
雇用管理研修会を開催しました……	12
林業雇用改善推進会議について……	13
福島県農林漁業就業支援連絡協議会について…	13
2016森林・林業・環境機械展示実演会レポート…	14
福島県認定事業体 一覧表（流域別）……	15
福島県認定事業体 位置図（流域別）……	16

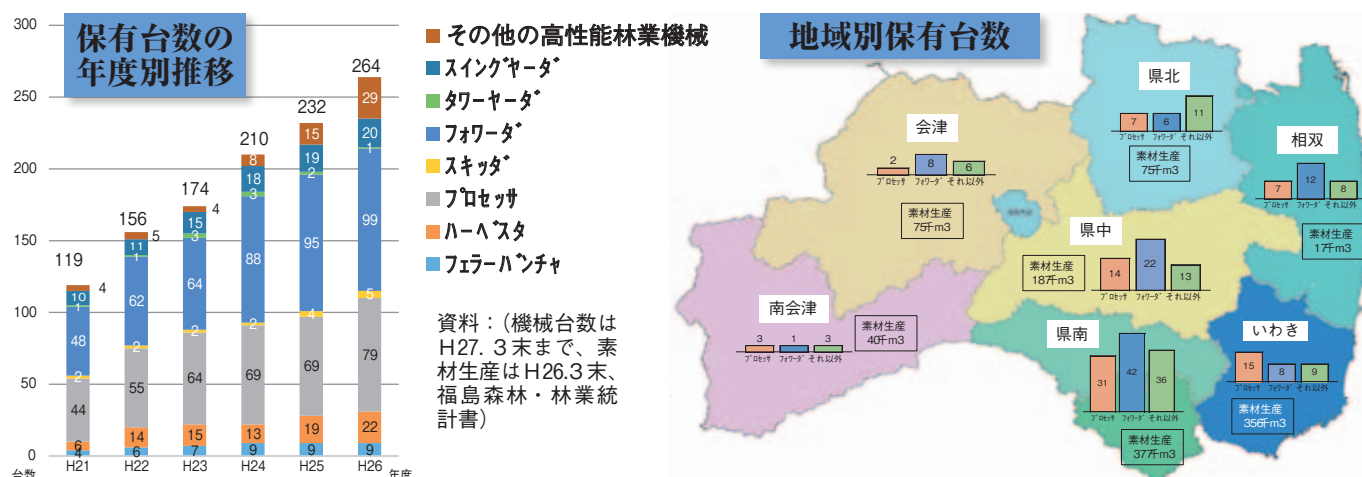
高性能林業機械を取り巻く情勢について

福島県の高性能林業機械保有台数の年度別推移・地域別台数

林業労働の軽減、生産性の向上に欠かせない本県の高性能林業機械の保有状況は、平成4年の10台から右肩上がりに増加し、平成20年3月末の118台から6年後の平成27年3月末には、2.24倍の264台に増加しており、顕著な増加傾向が見られます。

単年度で見ても、平成26年度は前年より32台の増加となっており、導入の意欲が高まっています。

平成27年3月末の高性能林業機械の種類別の保有台数は、フォワーダの99台、プロセッサの79台、スイングヤーダ20台、ハーベスタ22台などとなっていて、特にプロセッサの台数の伸びが顕著です。また、平成27年3月末の農林事務所別の保有台数では、県北が24台、県中49台、県南109台、会津16台、南会津7台、相双27台、いわき32台で、県南地方の保有が際立っています。



高性能林業機械の実践研修の参加者の推移

区分	開催日	開催日数	参加者数(延べ)	参加者数(実人員)
平成28年度	H28. 10. 19-21	3日間	70名	28名
平成27年度	H27. 9. 14-16	3日間	74名	21名
平成26年度	H26. 8. 26-28	3日間	77名	27名
平成25年度	H25. 8. 6-8	3日間	119名	50名
平成24年度	H24. 8. 21-23	3日間	150名	53名
	H24. 11. 6-8	3日間	105名	35名
平成23年度	H23. 8. 23-25	3日間	145名	59名
	H23. 11. 7-9	3日間	166名	56名
平成22年度	H22. 8. 23-25	3日間	57名	19名
	H22. 10. 18-20	3日間	57名	19名
平成21年度	H21. 10. 13-14	2日間	21名	11名
	H21. 10. 26-27	2日間	42名	27名
	H21. 11. 16-18	3日間	42名	14名

高性能林業機械を操作するオペレーターのスキルアップは、労働災害の防止、作業効率の向上による生産性向上、機械の修繕費の抑制等に重要です。

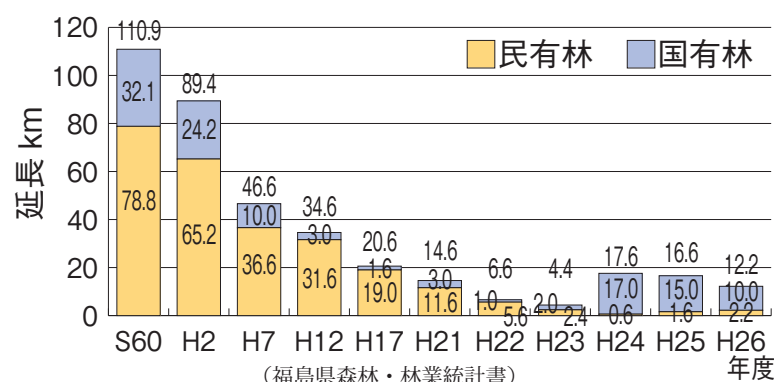
当支援センターでは、毎年度実践研修を開催しオペレーターの技能向上に役立つお手伝いをしています。

特に、機械の導入が増え始めた平成21年度から平成24年度までは複数回の研修を開催してきました。

また、今年度は、事業体の要望に応じてフェラーハンチャーザウルスの実習のメニューを追加、さらに、高性能林業機械のメンテナンス研修会(プロセッサ)を実施しました。

今後、新しい取組をしている事業体への視察研修も予定しています。

本県の林道整備の年度別推移



高性能林業機械を安全で効果的に活用するためには、林道、作業道などの路網の整備が不可欠です。本県は森林面積が全国4位であることと比例して林道整備も行われてきました。総延長5,798kmで全国5位。特に民有林が4,077kmで全国4位となっています。

区分	単位	面積	順位
林道総延長	km	5,798	5
うち国有林	km	1,721	8
うち民有林	km	4,077	4

(福島県の森林・林業) 平成28年3月作成

プロセッサのメンテナンス研修会を開催

平成28年9月16日(金)に、フォレストパークあだたらにて、高性能林業機械（プロセッサ）のメンテナンス研修会を開催しました。

当協会では、平成21年度から高性能林業機械のリース事業を実施しておりますが、導入した機械も徐々に使用期間が長くなり、これからの維持管理及び安全な運行のため、機種別（プロセッサ）のメンテナンス研修会を企画しました。

今回は、事前に行った林業事業体へのアンケート調査により希望の多かったプロセッサを対象に行い、講師として、イワフジ工業株式会社の大石矢尾樹氏を迎えて、午前中はレクチャーホールにて室内研修、午後はプロセッサの実機による研修を行いました。



室内研修の様子



イワフジ工業㈱講師 大石矢尾樹氏

室内研修では、基本的な構造や各部の名称、電気装置や油圧装置について説明があったのちに、各部の保守点検方法について学びました。作業要領だけでなく、安全に作業を行うためのポイントや、故障診断やエラーメッセージの判別方法についての説明があり、最後に、日常点検や管理手法等について教えていただきました。

午後は、プロセッサ（イワフジ製プロセッサ CT500B、GP35A、TW2S）を使用して、実機によるメンテナンス研修を行いました。



実機による研修の様子



参加者によるカッターの磨き上げ

概要説明のあと、実際にグラインダーを使って、全員でカッターを磨き上げ、その後アタッチメントの内部構造についての説明を受けました。

さらに、ソーチェーンの張りを確認し、調整する方法を学びました。

油圧ラインの確認や各種計器の説明のあと、エラーメッセージに合わせた対処方法について学び、最後に、全員でグリスアップを行って終了となりました。

雨が心配される天候の中、無事に実機研修まで終えることができ、研修に参加された方にはぜひ今後の作業の中で生かしていただきたいと思います。

今後も、機種を替えての研修や、より専門的なメンテナンス研修を含めて、継続して開催していきたいと考えております。

高性能林業機械実践研修会を開催

高性能林業機械の実機を使用した実践研修会を、平成28年10月19日(水)～21日(金)の3日間の日程で、郡山市及びいわき市にて開催しました。

毎年開催している研修会ですが、今回はのべ70名の参加者となり、初日は郡山市の南東北総合卸センター会議室にて室内研修を行いました。

19日の室内研修は、キャタピラー東北合同会社から講師を迎えて、高性能林業機械の概要や安全な作業への取り組みや日常のメンテナンス、これからの新しい林業機械について講義を行いました。



支援センター事務局長の挨拶



キャタピラー東北(同)スタッフ紹介



室内研修の様子

安全な作業への取り組みに関する講義では、「じゃんけんゲーム」(2人1組になり、1人が後出しで、必ず負けるじゃんけんをするゲーム)を行い、人の習慣がなかなか変えられないものだということを体感した後に、林業での災害事例を見ながら、起きた原因とその対策についてのグループ討論を行いました。



じゃんけんゲームの様子



グループ討論で災害対策を検討



グループごとに発表、指差呼称

午後の研修では、機械の構造及び保守・点検についての講義を行い、日常点検のポイント(オイル等の点検、グリスアップなど)を挙げ、これらの点検や管理を徹底して行うことで、修理コストの低減と作業性能の維持が可能であるとの説明がありました。

その後、林業仕様において注意すべき項目として、可燃物体積による火災への警告や、これからの新しい林業機械についての講義があり、充実した内容の室内研修となりました。



午後の講義の様子



日常点検の重要性について、講義を受ける参加者

翌20日(木)、21日(金)の2日間は、有限会社平子商店より講師を迎えて、いわき市遠野町内の国有林(南平子商店作業地)において、実機を操作しての現地研修を行いました。

スイングヤーダ・プロセッサ・グラップル付フォワーダの3台により、集材・造材・はい積み作業を班別のローテーションにて行い、さらに20日には、室内研修に引き続きキャタピラー東北合同会社より講師を迎えて、実機によるメンテナンス研修も行いました。



全員による索張り研修



(班別研修) プロセッサ操作実習



(班別研修) スイングヤーダ操作実習



(班別研修) フォワーダ操作実習



メンテナンス実習



メンテナンス実習

操作実習では、手元のレバー・ボタンや足元のボタンを駆使しての機械操作に、苦勞しながらも真摯に取り組んでいる様子でした。講師の皆さんも、操作方法だけでなく、実際の現場で使用する際の注意点や安全に使用する方法などを丁寧に教えてくださり、参加者も積極的に質問しながら実習を行っていました。

研修3日目の21日は、始めにフェラバンチャーザウルスロボによるデモンストレーションとして、機械による伐倒と作業道作設の様子を見学しました。運転席から出ることなく、道を作りながら支障木を切り、進むことができる機能的な機械で、現在、福島県内でも導入が進んでいます。

この日も班別の実機による操作研修を行い、最後に全員で索撤去作業を行い、さらに現場指導員である平子社長からワイヤー編みを教えていただき、3日間の研修を終えました。

平子社長からもお話をいただきましたが、機械の操作においては何よりも安全に、そして事故のないように取り組むことが大切です。山林での作業は常に危険が伴うことから、ぜひ今後も、事故のないよう丁寧な機械操作及び適切な点検管理等をお願いします。



フェラバンチャーザウルスロボによるデモンストレーション



全員による索撤去



ワイヤー編みを教えていただく

トピックス

〈共同改善計画に伴う委託募集について〉

「林業労働力の確保の促進に関する法律」等により、事業主の知名度不足を補い、募集人数等を多くすることによる求職者へのアピール度を高めるため、事業主と支援センターが共同で改善計画の認定を受けた場合、事業主からの委託を受けて募集を行うことができます。

本県では、共同計画を立てている磐城林業協同組合の中の12事業体が募集を行うこととして、支援センターは厚生労働大臣に届け出て、平成28年1月1日から6月30日までの期間で、31名の募集を行い8名が雇用されています。

(詳しくは、本協会のホームページで検索)

就労者のキャリア形成に向けての取り組み

林業就業者の定着を促進するためキャリア形成に必要な知識等習得するための研修会として、「林業人材育成研修会」を開催しました。

平成28年6月6日（月）、郡山市の逢瀬公園緑化センター及び逢瀬町の現地会場（公社造林地）にて、林業人材育成研修会を開催しました。

今年度は、講師として青森県国有林材生産協同組合参事で林業安全技能師範の小田桐久一郎氏を迎えて、チェーンソーによる伐木の基礎から応用までを、現地での実演も交えて講義いただきました。



小田桐久一郎氏



受講生で満席となった研修会場

午前の室内研修では、正確な伐木のためのテクニックだけでなく、作業中の事故を防ぐための心構えや、チェーンソーワークの指導方法について講義いただきました。

これから初級者及び若い人材を育てていく場合、技術を目に見える形で分かりやすく説明することが求められており、そのためにも指導者は、説明できるだけの知識や技能を深めていくことが必要だと熱心に話されていました。

午後の現地研修では、実際にチェーンソーにより伐木をしながら、チェーンソー初級者への指導方法や、作業現場の状況に応じた伐木方法などについて具体的に講義いただきました。

受講された方々は、豊富な経験と知識に基づく小田桐氏の言葉に熱心に耳を傾けながら、現地での実技指導を受けていました。



質問を受けて、チェーンソーを分解して説明



受け口切りの実演



丸太を使用した指導方法を説明



和やかに分かりやすく講義する小田桐氏

トピックス

〈森林（もり）づくり研修会を開催します〉

平成28年12月12日（月）、郡山市のビッグパレットふくしま4階プレゼンテーションルームにて、「森林（もり）づくり研修会」を開催します。

講師として、昨年度に引き続き赤堀楠雄氏（林材ライター）を迎え、「赤堀楠雄氏の『らんだむとーく』」と題して、森林、林業、木材産業、住宅産業等に精通した赤堀氏の取材ノートから、森林（もり）づくりにまつわる様々なテーマについてお話をいただく予定です。

研修会の模様は、次号でお伝えします。

森林作業道作設研修を開催

平成28年6月28日(火)から7月1日(金)までの4日間、効率的な素材生産システムの基盤である丈夫で簡易な森林作業道を作設するための研修会(初級研修)を行いました。

場所は室内：石川郡石川町大字北山字関場115(ふくしま中央森林組合石川岩瀬事業所) 現場は石川郡石川町大字中田字迎高野地内でした。

講師は、齋藤興氏((一社)フォレスト・サーバイ) 豊田新一氏(有豊田林業)の両名の方をお願いしました。

1日目(6月28日)座学及び現地

◎座学(午前) 講師 齋藤興氏による講義
「路網作設オペレーター養成事業 研修教材 森林作業道づくり2010」により講義

- ①森林内の道の種類 ②森林作業道の特徴
- ③構造上の特徴 ④地形地質の基礎知識
- ⑤路線の選定 ⑥使用する機械 ⑦伐開
- ⑧土工の基 ⑨排水 ⑩現地の地形・地質・土壌

◎現地(午後) 講師 豊田新一氏による現地実習
①現地踏査 ②支障木伐倒 ③かかり木処理
④簡易な木橋の敷設(固定に八寸釘を使用)



座学：齋藤氏のパワーポイントによる講義



現地踏査状況

2日目(6月29日)終日現地

- ①機械搬入 ②表土処理 ③伐根処理
- ④土砂掘削 ⑤路盤転圧 ⑥転石処理

3日目(6月30日)終日現地

- ①初級者への実習(地盤の良いところで掘削・転圧の作業を反復訓練)
- ②軟弱地盤(1mピッチで3mの横木を設置して不等沈下に対応)
- ③湧水処理(湧水があったため片梯子土台を追加し、丸太横断排水工を設置)

4日目(7月1日午前)現地

- ①湧水状況確認(昨日の溝の流水状況確認) ②路盤仕上げ ③出来形確認(出来形延長65m)

4日目(7月1日午後)座学

- ①作設上の疑問点、不明点について討議、随時講師のアドバイスを受ける。
- ②講師による講義 ③確認テストによる習熟度等の確認 ④アンケートの記入
- ⑤修了証の交付(講師より手渡し) ⑥記念写真(研修生の確認)



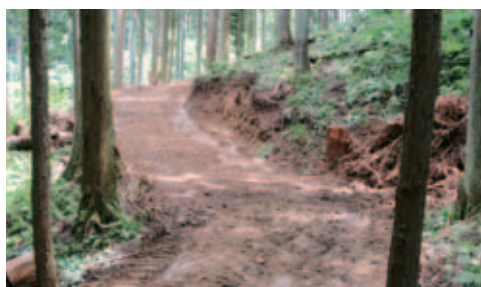
転石処理



片梯子土台設置状況(横木設置)



室内研修：講師説明



作業道開設完成状況



豊田講師と各受講生

林業就業支援講習(4日間)を開催

林業就業を目指す方々を対象にした林業就業支援講習を、平成28年8月22日(月)から25日(木)までの4日間の日程で開催しました。

この講習は、厚生労働省委託事業として全国森林組合連合会の委託を受けて各都道府県にて実施するもので、新たに林業への就業を希望する方(原則45歳未満の方)を対象に、林業の基本知識の講義および林業体験、職場見学等を行いました。今年度の参加者は8名、うち、女性は1名となりました。

日程	カリキュラム	開催場所等
1日目 (8/22)	・オリエンテーション ・林業の基本知識 ・安全衛生に関する知識等	郡山市 ビッグパレットふくしま
2日目 (8/23)	・林業作業の体験 チェーンソー作業の見学 高性能林業機械の見学 除伐等作業体験 丸太切り作業体験	埴町(午前) 真名畑林業(有) 鮫川村(午後) 県南農林事務所
3日目 (8/24)	・林業職場の見学 「WOOD.ALC」による復興公営住宅 製材工場及び集成材工場	二本松市(午前) 藤田建設工業(株) 埴町(午後) 協和木材(株)
4日目 (8/25)	・講演 「林業就業を志すために必要なこと」 ・林業への就業・生活相談 ・講習の総括・修了者証の交付等	郡山市 ビッグパレットふくしま

1日目・2日目

1日目はオリエンテーション及び講義を行いました。

2日目の見学では、チェーンソーでの伐倒作業や、高性能林業機械による造材作業等を見せていただき、受講生たちはカメラやスマートフォンで撮影しながら熱心に見学し、活発に質疑応答を交わしていました。

午後の作業体験では、枝打鋸を使った作業が初めての方も慣れている方もいる様子でしたが、楽しそうに作業を行っていました。



伐倒作業の見学



フェルバンチャーザウルスロボによる作業道作設



枝打ち・伐木作業体験



丸太切り作業体験

3日目

3日目の午前中は、二本松市内で藤田建設工業(株)により建設中の復興公営住宅を見学しました。

「鉄骨+WOOD.ALC」によるハイブリット構造を採用して建築されたこちらの住宅は、効率的で工期・工費の縮小が出来るだけでなく、木肌のぬくもりも感じることが出来る外観となっており、話題の建材による貴重な現場を見せていただくことができました。

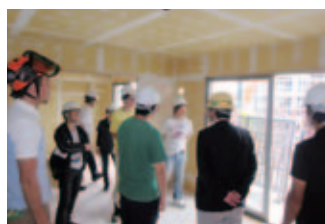
午後からは、埴町の協和木材(株)の大規模な製材工場及び集成材工場を見学しました。

国産材製材では国内でも最大級の工場で、平成22年からは24時間稼働し、年間原木消費量は30万m³になっています。研修生は、広い敷地に並ぶたくさんの施設や機械・車両、そして積み上げられた大量の木材に圧倒されながら、なかなか目にする機会のない工場内を、興味深く見学していました。

両日いずれの現場・施設も、担当者により丁寧にご説明をいただき、大変有意義な見学となりました。



建設中の復興公営住宅



質疑応答を交えながらの見学



製材工場を見学



集成材工場を見学

4日目

初日と同じ郡山市のビッグパレットふくしま会議室にて、講話、相談及び4日間の総括等を行いました。

はじめに、五十嵐保雄氏による講話「林業就業を志すために必要なこと」を聴講したのち、今年度の緑の雇用FW3年生として活躍している(有)ウッド福生の菊池優子さんと当支援センター所属の林業地域支援アドバイザー2名による林業への就業・生活相談を行い、4日間の講習の総括を行い、修了証の交付となりました。



五十嵐氏の講話



アドバイザー、菊池さんとの個別相談



修了証の交付



集合写真

1月には支援講習の20日間コースの開催も予定しております。こちらのコースでは資格取得もできますので、ご参加くださいますようお願いしております。

研修生による作文（抜粋）

森林整備の仕事を希望するきっかけは、高校の選択科目で「林業」を受講し、間伐や植林・除伐作業、足尾銅山への合宿に行った体験である。2年生の頃は間伐をやっても疲れるだけだったが、作業を繰り返すうち伐倒することに達成感にも似た感情を覚え、林業に興味を持つようになった。

それから林業について調べ、日本の森林・林業の現状を知ることとなる。戦後の「拡大造林政策」から、外国材の輸入化により国産材の需要は一気に落ち込み、林業を営む人達は安い材価と苦しい労働で意欲を失い、針葉樹が密植された山林も放置される現状を知った。

土砂崩れなどの災害を防ぐためにも、木材を切り出し森林を管理していく必要がある。私自身も今の日本の森林を少しでも良くしたいと思い、森林整備の仕事に就きたいと考えるようになった。(20代・男性)

東日本大震災で被災し、“当たり前”の生活が実は“当たり前”ではないことに実体験をもって気づいた。そこで、ライフスタイルの転換を決意し、風呂と暖房に使うエネルギーは自分で山から伐木した薪を使って生活をしている。その中で、森林に関わることの重要性を学んでいった。

現在、地域おこし協力隊として、交付金を活用して森林整備事業を行っているが、経験を積むほどに、森林資源の可能性と地域の山を取り巻く課題が明確になった。職業として森林整備の仕事を興すことができれば、地域の未来や可能性を拡大させ、山に興味関心を失くした地域住民の意識改革になると考えている。

「熱エネルギー転換」を軸に、誰でも取り組める「自伐型林業」の普及や、「木の駅」システムの導入、竹資源の6次産業化など、森林資源をもう一度生活に組み込み活用することが重要だ。安全へ配慮しながら、山や森林の恵みを頂き、先人たちや風土、消費者、自然に感謝をしながら、山守という仕事に誇りを持って働きたい。(30代・男性)

講習に参加した動機は、地方への移住を考え、その働き口として林業を視野に入れていることである。現在は東京で営業職をしているが、超過密都市の東京でこのまま暮らすことに疑問を感じ、地方移住を検討している。

今の30代が感じる部分で、企業に長年勤めてマイホームを買い、子どもを大学まで育て上げるという一世代前の価値観は金銭的に厳しさと捉えている。昔のような高度経済成長のような時代ではないからだ。

林業に求めるのは福利厚生である。社宅や保険等の制度が充実すれば、長く勤めることが可能だ。都会からの移住は、賃金が下がるのが大きな不安になるが、そこをサポートする体制があれば、安心して林業に就労することができる。都会から地方に移住したい人は多いと思うが、全てを一から整えるのは非常に負担が大きく、技術等の支援と並行して生活の支援があると踏み出しやすいと思う。(30代・男性)

現在、日本の林業は衰退の一途をたどっているが、理由は主に2つに絞られる。1つは従事者の高齢化と減少による林業の衰退、もう1つは外国産材の台頭による国産材の需要の減少である。この2つの問題は密接に関係し、後者による林業の衰退が前者の問題に拍車をかけているといっても過言ではない。

これらの問題を解決するために、「木材のブランド化」という可能性を提案したい。現在様々な場所で行われているが、知名度と成功率は高いとは言えない。地方ブランドを成功させるためには生産者から小売店までの緻密な協力による知名度の向上が必要となってくる。特に木材のブランド化はかなり難しいと考えられる。

また、他のブランド化されていない商品の価値等を相対的に落とすことにもなる。ブランド化にあたって、その地方の他産業とタイアップし、同時に知名度向上を目指していくことにより、顧客を集めるだけでなく、商品を知った若者や転職希望者の目に留まりやすくなり、林業従事者を増やすという提案をしたい。(20代・男性)

小規模な山林の場合、重機コストが材価の低さから回収ができず、赤字になるケースがある。現在、森林は木材とするに適した年齢級のもの半数を占め、これを活用する段階に入り、花粉の問題からこうした森林の放置は望ましくない。

そこで、伝統的な馬搬の利用を提案したい。かつては多く見られたが、機械化に押され姿を消した文化である。今ではごく限られた地域で、僅かな人数で行われるのみだが、文化の再興と、林業の振興をタイアップで行おうと考える。

馬搬は、大量・継続的な運材には非効率的であるが、短時間・小規模であればひけをとらず、重機よりもコストが安く、作業道も必要なく、立ち木や地面を大きく傷つけることもない。零細な規模の林家が大半を占める中、ニーズはあると考える。また、馬搬の材には「自然に優しい」「文化の再興」という付加価値をあたえ、よりよい条件での取引や、新たな層へのアプローチを図ることができる。さらに「文化」という面から、教育などとさらなる外部との連携も開拓が可能だ。(20代・女性)

森林整備の仕事を希望する理由は4つ。①林業が置かれている厳しい現状。3K・勤労者の減少・高齢化・低所得・補助金頼みなど悲観的だが、我々若い力で林業を盛り上げ、まずは福島から世界に林業を発信したい。②新聞で「林業就業支援講習」という文字が目に入り、林業の基礎から応用まで学びスキルアップに励み、理解や知識を深めながら、林業に携わっていきたい。③我々人間は、資源・自然の豊かさは永久的だと思っているが、永久的ではないことを再確認し、次の世代にたすきをつなげていきたい。④これからの時代は手に職をつけると言われる。自分のスキルは誰も奪えないし、これから生きていくうえで必要だと思う。

これらの理由から、森林整備の仕事が当てはまるならば、自分にとって最高の天職だと思う。五感を感じて、これから有意義な人生設計を描きたい。(30代・男性)

森林整備の仕事を望む理由は、林業専門の大学で様々な素材生産現場を目の当たりにし、自分も働いてみたいと思ったことがきっかけである。農林業従事者が高齢化している今こそ、若い力が現場の最先端で働き、経験を積み重ねてほしい。未だ林業という職業には命にかかわる事故が多くあるが、これからは、高性能林業機械を活用し、より安全な作業が求められていると思う。

林業の振興には、徐々に広まりつつある新ストーブやベレット等を多くの方に知ってもらい、木に触れて、活用してもらうことが必要である。そして、人が利用しやすい山の管理をするために、現場で働く若い力が必要ではないだろうか。

林業に就業するにあたって、何よりも安全に注意しながら、現場で働く先輩方の技をよく見て、技を覚え、いずれは林業のプロフェッショナルになりたいと思う。(20代・男性)

森林整備の職業を希望する理由は、自然の中で働き、荒れた山林の手入れを行うことで、自然環境を守る林業に憧れを抱いたからです。去年の夏、暖炉の薪を自分で調達している先輩の手伝いに行きました。焚き火が好きで、薪を分けてもらうため手伝ったのですが、もともと山が好きで、薪割りや木の伐採に興味がありました。

先輩がチェーンソーで木を切り、大きな音を立て倒れる木の迫力は凄く、思わず声をあげるほど興奮しました。切り口からは木のいい香りがして、嬉しくなったのを覚えています。40cm程の丸太はかなり重く、車までの僅かな距離も汗でびしょ濡れになりながら、何度も往復しました。たまに吹く風が気持ちよく、空気も美味しく、辛いとは思いませんでした。

この時から自然の中での仕事に惹かれ、林業への興味が湧きました。林業は担い手が不足し、山林は荒れ環境問題の一因になっていることを知り、林業の担い手となって荒れた山林を綺麗にし、環境保全の役に立ちたいと思っています。(20代・男性)

森林・林業担い手育成事業の実施

森林・林業に意欲と技術力を有する優れた担い手の育成・確保を支援するため、各種取り組みを通じて森林・林業に関する情報を提供するための事業を実施しています。

高校生を対象とした森林林業体験事業を開催

支援センターの取組紹介

皆様にも関係する主な仕事をピックアップすると

人材の確保

- ◎林業就業支援講習・担い手育成事業（高校生への林業の紹介など）の実施
- ◎森林の仕事ガイダンスなど、求職者への情報提供・求職者相談
- ◎委託募集（事業主が合同で求人募集）

人材の育成

- ◎「緑の雇用」の集合研修の実施
- ◎新規就業者への支援（資格取得・OJT研修への助成）
- ◎林業就業者のキャリアアップの支援（森林作業道作設研修・高性能林業機械研修・キャリア形成支援研修など）

事業主への雇用改善の指導・助言

- ◎働きやすい職場へ改善して、林業就業者の確保・定着を指導・助言

平成28年9月30日、森林・林業担い手育成事業として、福島県立会津農林高等学校において同校森林環境科1年生37名を対象に刈払機取扱作業教育を開催しました。

◎支援センターの取組紹介

講義が始まる前の若干の時間をいただき、高校生向けの支援センターの取組を以下の通り紹介しました。

【人材確保】

求職者への林業就業支援講習のメニューを紹介し、写真や映像で実施状況を説明、今回の事業や森林の仕事ガイダンスや求職者相談、事業主が共同で求人を行う委託募集などを紹介しました。

【人材の育成】

「緑の雇用」の集合研修での研修状況、新規就業者支援として、資格取得や現場研修への支援、就業後もキャリアアップのため各種研修会を行っていることを紹介しました。

【事業主への雇用管理改善指導助言】

事業主の皆様へ、就業者の確保・定着への助言・指導も行っていることを紹介しました。

◎（安全衛生教育）室内

林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部の講師の方々により、「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育テキスト」を基に、刈払機の構造及び機能、機械や刃の選定等を、作業に関する知識では、安全な操作を行うための服装や履き物、保護帽耳栓やイヤーマフなどを実際に展示して、説明を受けました。

さらに、刈払機を使う時期の、雷や熱中症の発生対策、蜂さされの予防や対策、その他危険な動植物への防備などの講義を受けました。

また、点検及び整備に関する知識、災害事例、振動障害とその予防、労働安全衛生法などの関係法令について学びました。

◎（安全衛生教育）実技

学校の敷地を実習場所として実技を行いました。

最初に、機械操作の手本として、実際に持ち方や足の運び方、機械の刈幅や大振りや往復刈りはしないこと、キックバックの防止などの説明を受けた後、生徒一人ひとりが直接指導を受けていました。

◎アンケートの結果

下表のとおりのお返答を得ました。

特に「やってほしいこと」のその他回答は学科ならではの感じました。

◆刈払機の安全衛生教育を受けてみて、特に印象に残ったものは？（複数回答可）

- | | |
|---------------|-----|
| □ 支援センターの取組紹介 | 6名 |
| □ 刈払機の知識 | 15名 |
| □ 振動障害の知識 | 16名 |
| □ 災害事例 | 17名 |
| □ 実技 | 25名 |

◆今後、森林・林業関係でやってほしいことは？

- | | |
|----------------|----|
| □ チェーンソーの操作 | 9名 |
| □ 林業現場の見学 | 9名 |
| □ 製材工場・原木市場の見学 | 7名 |
| □ 地元の林業者の講話 | 0名 |
| □ その他 | 1名 |
- （林業が営まれる事による自然環境の変化やその保全方法）



支援センターの取り組みを紹介



刈払機の説明をする講師



学校の敷地で操作実習



個別に操作指導を受ける生徒

女性を対象とした自然と触れ合い学ぶイベントを開催

平成28年10月29日(土)、大玉村「フォレストパークあだたら」において、「秋の森散策と森の香りのアロマセラピー」と題したイベントを開催しました。

森や木・林業などに興味・関心をお持ちの女性に向けて、身近な自然と触れあいながら、女性同士のネットワークづくりを図ることを目的として開催したもので、県内の林業関係者や大学生、一般の方など、28名が参加しました。

午前中は、秋の森散策と題して、福島県もりの案内人の会より講師2名を迎え、フォレストパークあだたら内のフィールドを散策しました。冷たい風が吹くあいにくのお天気でしたが、案内人のお二人から、樹木や植物・動物のこと、また森林整備や林業のことについてのお話をしていただきながら、楽しく散策することができました。



森林散策の様子（1班）野鳥の勉強会



森林散策の様子（2班）森の朗読会



盛り上がった「森のエビフライ」探し

午後のワークショップは、(株)一十八日（じゅうはちにち）より講師を迎え、クロモジのネックレス作りとルームスプレー作りを行いました。

はじめに、(株)一十八日で取り組んでいる南会津でのクロモジのアロマオイルづくりについて説明があり、地元の方々と協力しながらクロモジを集め、オイルを採集し、さらにクロモジの植林も行っている取り組みを伝えていただきました。

続いて、その南会津のクロモジの枝を使ったネックレス作りを行い、参加者の皆さんは、枝の形やビーズの組合せに工夫を凝らしながら、楽しく制作していました。

その後、国産の森の香りのアロマオイル（ヒノキや杉、クロモジ、薄荷、柚子など）を、好みの比率にブレンドしてのルームスプレー作りを行いました。



森の香りのアロマセラピーの様子



完成したルームスプレーとペンダント



記念写真 楽しい時間を過ごすことができました

いずれの講座も、森や木をよく知り、仕事として熱心に取り組まれている講師の方々に盛り上げていただき、とても楽しく有意義なイベントとなりました。参加者からは、「森の散策では勉強でき、楽しい時間となりました。アロマセラピーも自作の香りができリラックス効果最高です！」との感想が寄せられ、森林の仕組みを知り、より身近に森林の大切さや恵みを実感することができたことと思います。

これからも、女性の方が森林・林業に興味を持っていただく楽しいイベントを企画していきたいと思っています。

トピックス

〈新規就業者への支援について〉

平成28年度林業新規就業支援事業として林業労働力確保支援センターでは、下記のメニューで新規就業者を雇用する事業体への経費の支援をしています。

①特別教育等受講支援

（安全講習2項目、安全衛生教育3項目、特別教育5項目、技能講習6項目）

②OJT研修支援

雇用管理研修会を開催しました

全国森林組合連合会の委託事業である雇用管理改善事業の一環である「雇用管理研修会」を、全国素材生産業協同組合連合会の協力を得て、平成28年8月8日(月)、福島県農業総合センター(郡山市)で労働安全コンサルタントの会津坂下町在住の生江一善氏を講師に招いて開催しました。事業主や雇用管理者34名が参加しました。講演要旨は以下のとおり。

【講演要旨】(林業労働安全衛生推進テキストを使用)

■全国の林業における労働災害統計データ

- ☐ 死傷者数2015年、死傷者1,619人、死亡者38人。林業は10倍高い死亡率。
千人率 26.9人/千人が怪我人。建設業 5.0人/千人。
- ☐ 強度率は全産業0.07 (0.09) に対し4.72。40倍近い。
- ☐ 若い人の定着・活性化には雇用管理改善
- ☐ 大型機械が導入されているが、斜面での仕事で、機械の転落もある。
どこから安全でどこから危険ゾーンかわからないのが林業。
- ☐ 企業の目的は、社会貢献・適正な賃金・働きがい・企業の持続性
- ☐ 人を育てる、人とのコミュニケーション、人に喜びを与える役割を持つ。



講師の生江一善氏

■安全管理は企業経営の基本

- ☐ いろいろな管理がある。生産管理・労務管理・販売管理・情報管理・環境管理など
- ☐ 管理の仕方がもし何かあったら責任が問われる。
- ☐ 労働災害により事業者が失うもの
①信用を無くす。②持続性が失われる。③行政上の責任。④コンプライアンス→取引の取りやめ
- ☐ 労災保険は上乗せ保険有る。

■安全衛生活動で事業者が得るもの

- ☐ モチベーション・生産性向上・コスト削減・3Mが取れる(無駄・無理・ムラ)
- ☐ 労働災害防止は経営者の義務(義務を履行すること)
- ☐ 労働安全衛生法違反に当たる事例
①必要とする免許の未取得：林業架線作業主任者免状
②技能講習修了を必要とする業務に未修了者を就かせる：小型移動式クレーン運転技能者
③安全衛生特別教育を行っていない。
④雇入れ時等の安全教育を行っていない。

■安全衛生活動で事業者が得るもの

- ☐ 労働災害を防止する責任は企業のトップ・管理者・責任者
- ☐ 労働基準監督官：司法警察員、逮捕権ある。「手錠・とり縄」持つことできる。
- ☐ 事前送検(司法処分)(例：月120時間の労働時間外勤務)

■法令違反の場合の司法処分の流れ

- ☐ 労働者の過失相殺もある。
- ☐ 業務上必要な注意を怠り、その結果、人を死傷させた場合は5年以下の懲役か禁固または100万円以下の罰金。
(罰金もらうと前科者になる)
- ☐ 必要な措置を行っていたかどうか。知らなかったではすまない。言わないこと。
- ☐ 労働安全衛生法と業務上過失致死傷罪の異なる点
事例：伐倒する際、合図に気づかないまま玉切り作業に戻ったところに伐倒した木が頭部と背中に激突。
合図：暗黙の了解では周知していない。朝礼で行っただけではダメ。
①労働安全衛生法は使用停止、予防が目的
- ☐ 事前送検(司法処分)

■労災保険の責任

- ☐ 3日間は事業主が休業補償
- ☐ 労災保険の適用：一人親方はあくまで経営者で労働者ではない。特別加入が必要。
- ☐ 特別加入しているか確認してから仕事させる。

■安全第一、品質第二、生産第三

- ☐ 安全に投資する企業は発展する。

■民事上の責任

- ☐ 多くの場合事業者が損害賠償責任が発生
- ☐ 不法行為の立証は訴える方にある。
- ☐ 法令遵守、損害賠償は10年の時効。

■安全配慮義務の範囲

- ☐ 反論の証拠必要。債務不履行の方が訴える方が楽。
- ☐ 体でできるようになっていなければ教育訓練にならない。



研修会の様子

林業雇用改善推進会議について

厚生労働省福島労働局主催の平成28年度福島県林業雇用改善推進会議が、平成28年8月29日(月)、福島市の福島合同庁舎4階会議室で開催されました。

出席された委員は、学識経験者として福島県森林組合常務理事 遠藤誠寿氏、事業者代表として磐城林業協同組合理事長 平子作磨氏、労働者代表として福島地域森林労連議長 水野幹男氏、行政側として福島県農林水産部林業振興課主任主査 佐藤淳氏、同じく福島労働局職業安定部職業対策課課長 伊東英敏氏です。

そのほか、事務局として公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会、福島労働局職業安定部職業対策課の職員が、オブザーバーとして福島公共職業安定所の小泉統括職業指導官、國分職業相談員により会議が進められました。

はじめに、林業雇用管理改善の取組の現状等について、伊東課長、佐藤主任主査、福島県林業労働力確保支援センター職員、福島公共職業安定所職員が説明を行った後、遠藤氏、平子氏、水野氏より各団体における雇用等の現状と今後のあり方について、説明や意見を頂きました。

会議では、就業者の定着が進まない理由はなにか、林業の安全管理費が十分でない現状、トライアル雇用の就業者のその後の雇用は、今後の女性の活躍の場を増やす取り組みや、実際に他県での女子だけの木を伐るチームの事例、入った人を辞めさせない努力・工夫が重要であることが話し合われました。



左から水野議長、平子理事長、遠藤常務



奥から星アドバイザー、小泉指導官、國分相談員



奥から佐藤主任主査、伊東課長、安田課長補佐

福島県農林漁業就業支援連絡協議会について

厚生労働省福島労働局主催の平成28年度福島県農林漁業就業支援連絡協議会が、平成28年11月16日(水)、福島市の福島合同庁舎4階会議室で開催されました。

協議会は、関係機関が連携し農林漁業への就業促進、就業に関する情報の交換や共有を図る目的で開催されました。

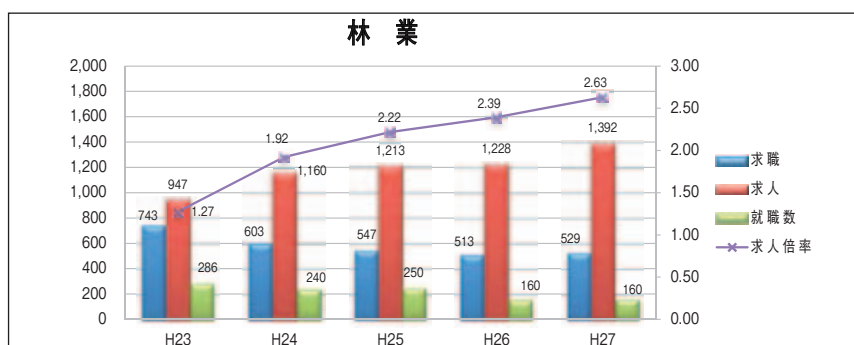
出席された機関は、右表のとおりです。

林業に関する有効求人数、就職件数についての情報提供もあり、平成27年度では求職者数529人、求人数1,392人、就職数160人で求人倍率は2.63倍となっています。

福島県農林企画課では、就業・雇用相談等に関する窓口を各農林事務所森林林業部等に設けていること、(独)高年齢・障害・求職者雇用支援機構では、高年齢雇用アドバイザーが林業事業体へ平成27年度5件、平成28年度6件の業務を行っているとの報告がありました。

【有効求人数・就職件数の推移】

資料作成：福島労働局職業安定部



福島県農林漁業就業支援連絡協議会出席機関

機 関 名	
(厚生労働省)	
福島労働局職業安定部職業対策課	
福島公共職業安定所業務部	
(農林水産省)	
東北農政局福島支局	
(福島県)	
福島県農林水産部農林企画課	
福島県農林水産部農業担い手課	
福島県農林水産部林業振興課	
福島県商工労働部産業人材育成課	
(関係機関)	
(独) 高年齢・障害・求職者雇用支援機構	
福島県支部	
(一社) 福島県農業会議事務局	
(公財) 福島県農業振興公社	
青年農業者等育成センター	
(公社) 福島県森林・林業・緑化協会	
林業労働力確保支援センター	



協議会の状況

トピックス

〈2016 森林・林業・環境機械展示実演会レポート〉

平成28年10月9日、10日の2日間、全国育樹祭イベントとして「2016森林・林業・環境機械展示実演会」が開催されました。当協会の職員2名も会場まで視察に行きましたので、簡単なレポートを掲載します。



会場の様子（スイングヤーダのデモンストレーション）

会場には、最新機械や海外製機械を含む500機種以上の林業機械が展示されており、各メーカーのブースごとにデモンストレーションが行われ、足元の悪い中ではありましたが、たくさんの来場者で賑わっていました。

昨年に引き続き、木材破砕機（より小型で処理能力が高いもの）や、タワーヤーダの展示が多く見られました。



アームが伸縮できるプロセッサ
旋回時、アタッチメントの重心を機体に近づけ遠心力による転倒を防ぐ構造



4輪ホイールタイプのプロセッサ
幹材や丸太等の障害物を乗り越えられる構造を持つ4輪多関節型のプロセッサ



クイックタワー
タワーをアタッチメントとして取り付けたタワーヤーダとスイングヤーダを合わせたような機械



ホイールローダーにグラップルとチップパーを付属させた高性能林業機械



グラップル付トラック「グラトラ」
グラップルとトラックの能力があり一人での搬出作業が可能



WOODY ハーベスタ
2本の爪で材を支える構造のため広葉樹のような曲がり材にも対応可能

高性能林業機械のほか、チェーンソーや安全装備等、また最近各メーカーが開発を進めている材積集計（検知）システムの展示等もあり、より安全かつ効率化・省力化が求められている様子が伝わりました。



大義バケット
森林作業道の法面成型に使用する脱着可能なバケットで自在成型が可能。
より強度のある作業道が作設できる。



ガイドバーの長さ150cmのチェーンソー、エンジン部の重さだけで10kgを超える。持ち上げるのが精一杯。



山土場での材積集計（検知）システム
音声で樹種・胸高直径・樹高を入力することができる。写真解析による集計システムも開発中。精度はまだ90%程度で実用段階ではない。

福島県認定事業体一覧表(流域別)

H28.9.1現在

番号	事業体の名称	所在地	TEL
阿武隈川流域			
1	福島県北森林組合	福島市岡部字前田137-1	024-534-9015
2	吾妻造林(有)	福島市町庭坂字湯町17	024-591-1322
3	(有)武田林産	二本松市小関105	0243-24-2819
4	安田林業(株)	安達郡大玉村大山字宮ノ前21	0243-68-2220
5	郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	024-957-2850
6	(株)アメリカ屋	郡山市田村町徳定字下河原58	024-944-4990
7	田村森林組合	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	0247-67-1101
8	(株)クライス	田村市常葉町西向字中97-1	0247-61-5187
9	(有)大須賀林業	岩瀬郡天栄村大字牧之内字惣五郎4	0248-29-8613
10	(有)星林業	岩瀬郡天栄村大字田良尾字鹿野3	0248-84-2307
11	(有)阿武隈環境メンテナンス	石川郡玉川村大字岩法寺字下竹ノ内36-6	0247-57-4111
12	(有)松崎産業	石川郡平田村大字永田字堂作112-3	0247-55-2076
13	(有)関根農林	石川郡平田村大字西山字川向1	0247-54-2313
14	(有)水野林興	石川郡古殿町大字大久田字越代139	0247-53-3860
15	(有)鈴木商事	石川郡古殿町大字松川字小名沢1	0247-53-3174
16	ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	0247-71-0755
17	熊ミツマグリーンプロジェクト	白河市大信下新城字北山61-1	0248-54-5115
18	大屋林業(有)	白河市大信戸字赤仁田1-111	0248-46-3591
19	白米林業企業組合	白河市字会津町93-8	0248-29-8991
20	西白河地方森林組合	白河市字旭町1-242	0248-24-1037
奥久慈流域			
21	(有)東白林業	東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野179-1	0247-33-6939
22	東白川郡森林組合	東白川郡棚倉町大字棚倉字南町100-2	0247-33-2161
23	(有)陣野林業	東白川郡棚倉町大字北山本字居伝金288	0247-33-5153
24	(有)スズキ木材	東白川郡棚倉町大字戸中字川前217	0247-35-2324
25	(有)田部林業	(戸塚事務所) 東白川郡矢祭町大字戸塚字太子沢21-3	0247-57-5675
26	協和木材(株)	東白川郡塙町大字西河内字鶴巻10	0247-43-0272
27	(有)いしぐろ	東白川郡塙町大字塙字宮田町16-8	0247-43-2940
28	真名畑林業(有)	東白川郡塙町大字植田字森戸68-1	0247-43-3331
29	(有)ウッド福生	東白川郡塙町大字片貝字兎田44	0247-42-2409
30	(株)池田林業	東白川郡塙町大字那倉字矢塚1	0247-42-2427
31	(有)本郷林業	東白川郡鮎川村大字赤坂東野字戸草298-1	0247-49-2420
32	(有)諸橋林業	東白川郡鮎川村大字赤坂東野字戸草23-2	0247-49-2422
会津流域			
33	会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	0242-26-2355
34	(有)佐藤林業	会津若松市湊町大字原字高坂153	0242-96-1370
35	会津北部森林組合	喜多方市字舞台田3128-8	0241-22-1136
36	(有)斉藤造林	喜多方市熊倉町雄国字八木沢道中乙562	0241-25-7021
37	(株)ノーリン	喜多方市慶徳町山科字宮前4780-7	0241-24-2300
38	西会津町森林組合	耶麻郡西会津町尾野本字樋ノ口原乙1460	0241-45-2779
39	(有)六和林業	耶麻郡猪苗代町大字磐里字島田1955	0242-62-3072
40	栗城林業(株)	大沼郡会津美里町字東川原3250	0242-54-7100

番号	事業体の名称	所在地	TEL
41	9 会津西部林業(有)	大沼郡会津美里町吉田字村中甲173	0242-53-2408
42	10 (有)川島林業	大沼郡会津美里町東尾岐字村中乙10948	0242-53-2701
43	11 (有)共和林業	南会津郡下郷町大字大内字沼山488	0241-68-2915
44	12 下郷町森林組合	南会津郡下郷町大字豊成字下モ6276	0241-67-3310
45	13 (株)ヤマシ	南会津郡只見町大字小川字下村79	0241-84-2573
46	14 只見町森林組合	南会津郡只見町大字只見字町下2591-30	0241-82-3120
47	15 和泉田造林組合	南会津郡南会津町和泉田稲場5542	0241-73-2330
48	16 佐藤造林	南会津郡南会津町静川字風下甲45	0241-62-2766
49	17 南会津森林組合	南会津郡南会津町針生字下宮238	0241-64-5071
50	18 (株)館岩工務所	南会津郡南会津町松戸原223	0241-78-2224
51	19 山星林業(株)	南会津郡南会津町田島字田部原159-5	0241-62-3139
磐城流域			
52	1 松山林業(有)	相馬市東玉野字町裏139-1	0244-34-2108
53	2 特定非営利活動法人自然環境広域圏	南相馬市鹿島区上板窪字瀬ノ沢20-1	0244-26-3917
54	3 (有)国見グリーンパワーズ	南相馬市原町区大原字阿弥陀堂28	0244-23-4923
55	4 相馬地方森林組合	南相馬市原町区錦町1-34	0244-22-0831
56	5 (有)鈴木林業	南相馬市原町区南町3-53	0244-23-2366
57	6 千葉製材所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	0244-22-8111
58	7 (有)中川木材	南相馬市原町区中太田字天狗田95-25	0244-23-4830
59	8 双葉地方森林組合	(暫定事務所) 田村郡三春町大字芹ヶ沢字深作130-2	0247-73-8070
60	9 (株)緑樹	双葉郡川内村大字上川内字町分314	0240-25-8806
61	10 (有)志賀林業	双葉郡川内村大字下川内字道ノ下30	0240-25-8484
62	11 (有)浪江愛林	双葉郡浪江町大字川添字南大坂57-12	0240-34-5259
63	12 吉田林業(株)	双葉郡葛尾村大字落合字大放100	024-983-7286
64	13 (有)ハヤマ森業	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	0244-42-0102
65	14 (有)丸信林業	いわき市川前町下桶売字荻91	0246-48-4878
66	15 國生興産(有)	いわき市小川町柴原字桐ヶ岡48	0246-83-0731
67	16 (有)中崎林業	いわき市小川町塩田字尾ノ内127	0246-83-1864
68	17 いわき愛林(株)	いわき市小川町上小川字石田111-1	0246-83-2560
69	18 (有)松本林業	いわき市小川町関場字前田78	0246-83-0548
70	19 いわき市森林組合	いわき市平字正内町107-3	0246-23-1599
71	20 (株)長山	いわき市遠野町深山田字新田62-1	0246-89-3999
72	21 遠野興産(株)	いわき市遠野町根岸字石田44-3	0246-89-2172
73	22 (有)平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	0246-89-2066
74	23 常磐林業(株)	いわき市泉町下川字田宿187	0246-56-1222
75	24 (有)井出林業	いわき市田人町貝泊字井出102	0246-62-4590
76	25 (有)豊田林業	いわき市田人町旅人字前山1	0246-68-3021
77	26 (有)近野林業	いわき市勿来町大高応時1	0246-65-2974
78	27 磐城造林(株)	いわき市勿来町関田宮前36	0246-65-4141

【認定林業事業体とは】

林業労働者を雇用して、造林、保育、伐採その他の森林施業を行い、改善の計画を履行する意欲と能力を有する事業者が、「福島県林業事業体改善計画認定要領」に基づき「雇用管理の改善と事業の合理化についての計画（改善計画）」（5年間）を作成・申請し、県知事の認定を受けると認定事業体になります。

福島県認定事業体位置図(流域別)



認定事業体名一覧

H28.11.1現在

No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
阿武隈流域		奥久慈流域		会津流域		磐城流域(相双)		磐城流域(いわき)	
1	福島県北森林組合	21	(有)東白林業	33	会津若松地方森林組合	52	松山林業(有)	65	(有)丸信林業
2	吾妻造林(有)	22	東白川郡森林組合	34	(有)佐藤林業	53	特定非営利活動法人 自然環境応援団	66	國生興産(有)
3	(有)武田林産	23	(有)陣野林業	35	会津北部森林組合	54	(有)国見グリーンパワーズ	67	(有)中崎林業
4	安田林業(株)	24	(有)スズキ木材	36	(有)斉藤造林	55	相馬地方森林組合	68	いわき愛林(株)
5	郡山市森林組合	25	(有)田部林業	37	(株)ノーリン	56	(有)鈴木林業	69	(有)松本林業
6	(株)アメリカ屋	26	協和木材(株)	38	西会津町森林組合	57	千葉製材所	70	いわき市森林組合
7	田村森林組合	27	(有)いしごろ	39	(有)六和林業	58	(有)中川木材	71	(株)長山
8	(株)クライス	28	真名畑林業(有)	40	栗城林業(株)	59	双葉地方森林組合	72	遠野興産(株)
9	(有)大須賀林業	29	(有)ウッド福生	41	会津西部林業(有)	60	(株)緑樹	73	(有)平子商店
10	(有)星林業	30	(株)池田林業	42	(有)川島林業	61	(有)志賀林業	74	常磐林業(株)
11	(有)阿武隈環境メンテナンス	31	(有)本郷林業	43	(有)共和林業	62	(有)浪江愛林	75	(有)井出林業
12	(有)松崎産業	32	(有)諸橋林業	44	下郷町森林組合	63	(株)ヤマシ	76	(有)豊田林業
13	(有)関根農林			45	(株)ヤマシ	64	(有)ハヤマ森業	77	(有)近野林業
14	(有)水野林興			46	只見町森林組合			78	磐城造林(株)
15	(有)鈴木商事			47	和泉田造林組合				
16	ふくしま中央森林組合			48	佐藤造林				
17	株式会社グリーンプロジェクト			49	南会津森林組合				
18	大屋林業(有)			50	(株)館岩工務所				
19	白栄林業企業組合			51	山星林業(株)				
20	西白河地方森林組合								

発行：公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会
 福島県林業労働力確保支援センター
 〒960-8043
 福島県福島市中町5番18号(林業会館内)
 TEL 024-521-3270
 FAX 024-521-3246
 メール fukusien@violin.ocn.ne.jp
 ウェブサイト <http://www.fukurin-net.jp/?cat=3>



平成28年12月発行